

1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成21年12月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2873002600
法人名	(株) ライフジャパン
事業所名	グループホーム あじさい
所在地	尼崎市武庫町1-29-18 (電話) 06-4962-5202

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成21年11月19日	評価結果確定日	平成22年2月5日

【情報提供票より】 (平成21年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年6月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	16 人
職員数	22 人	常勤11人, 非常勤11人, 常勤換算9人	

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル瓦葺 造り 2 階建ての 1 ~ 2 階部分
------	---------------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷金	㊦(250,000円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要 (10月1日現在)

利用者人数	16 名	男性	1 名	女性	15 名
要介護1	1	要介護2	3		
要介護3	6	要介護4	2		
要介護5	4	要支援2			
年齢	平均 85 歳	最低	77 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山田クリニック、福田歯科
---------	--------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

高齢者への尊厳ある対応・生きがいをもって豊かな生活・安全で安心して暮らせる地域社会づくりを運営理念とし、地域密着型サービスとしての独自の理念をフロアに掲示し、管理者・職員は、日々の実践の場で理念に基づいたサービスの提供を行なっている。定期的な連携医の往診があり、眼科・歯科・整形・認知症の専門医など、希望の医療機関へ受診支援を行っている。連携医とは24時間相談に応じてもらえるように連携が取れている。また、定期的な訪問看護が必要な利用者には、訪問看護を受けることが出来、健康管理に関しての体制作りが整備されている。職員は日々のその人らしい暮らしを大切に考え、大まかな1日のスケジュールはあるが、利用者の状態や希望にそって強制しないように柔軟な支援が行われている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	評価結果は玄関に掲示している。評価結果は、全職員に回覧し意見を出し合った。指摘事項については改善に向けて取り組み、継続している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
	今回の自己評価は、全職員に意見を聞き、管理者が作成した。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回入居者・スタッフ・ご家族・地域包括支援センター職員の参加のもと、入居者の状況、活動報告、活動状況の評価・要望・助言などの内容でを実施している実施している。地域の方の参加の呼びかけは、運営推進会議実施当初から行っているが、多忙の為現在まで参加の実績はない。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	ご家族様への手紙の中に、ご家族様からのご意見・要望を書く欄を設けて意見・要望を聴取できるようにしている。家族来訪時に職員が直接、意見や要望・苦情を聴取し管理者に報告している。来訪時に個々の家族に情報を提供している。定期的に「ご家族への手紙」を作成し、最近の健康状態・生活状況・余暇の過ごし方など、報告している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
重点項目	管理者・職員は地域との交流を大切にしており、毎月作成している行事予定やボランティアの様子などの写真を入れた「あじさいだより」を民生委員やボランティア・地域包括支援センターへ配布し、連絡や連携をとり始めている。また、地域へホームで実施する行事への参加案内をしている。地域のボランティアの受け入れも実施している。散歩時には、近隣の住民と挨拶を交わし交流を図っている。

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「尊敬する人生の先輩として、尊厳をもって節度ある対応を心がけます。」「生きがいをもって豊かな生活をしていただくようお手伝いします。」「住み慣れた環境ではかり、安全で安心して暮らせる地域社会づくりをめざします。」の3項目を運営理念とし、設立当初から地域密着型サービスとしての独自の理念を基にサービスの提供を行なっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関・フロアーに掲示し、日々の実践の場で理念に基づいた話を取り入れて周知を図っている。会議やミーティングの機会に職員と共に理念について話し合い、一層の浸透を図ることを課題としている。		職員全体が事業所の理念について理解し実践に生かされることを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者・職員は地域との交流を大切にしており、毎月作成している行事予定やボランティアの様子などの写真を入れた「あじさいだより」を民生委員やボランティア・地域包括支援センターへ配布し、連絡や連携をとり始めている。また、地域へGHで実施する行事への参加案内をしている。地域のボランティアの受け入れも実施している。散歩時には、近隣の住民と挨拶を交わし交流を図っている。		地域との交流や付き合いは、自然な中で交流が進んでいくので、今後も全職員で地域との交流の必要性や交流方法を検討しながら取り組んでいくことを期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価結果は玄関に掲示している。評価結果は、全職員に回覧し意見を出し合った。指摘事項については改善に向けて取り組み、継続している。今回の自己評価は、全職員に意見を聞き、管理者が作成した。</p>		<p>評価項目について理解を深め、評価を活かしたサービスの質の確保に最大限に活かすために全職員で自己評価を作成することが望まれる。</p>
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回入居者・スタッフ・ご家族・地域包括支援センター職員の参加のもと、入居者の状況、活動報告、活動状況の評価・要望・助言などの内容で実施している。地域の方の参加の呼びかけは、運営推進会議実施当初から行っているが、多忙の為現在まで参加の実績はない。</p>		<p>今後も地域の方への参加協力依頼を継続し運営推進会議を継続されることを期待する。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>規定の人員配置が難しい時期には、高齢介護課にホームの実情を報告、相談したり、ホームで困ったことなどホームの課題を積極的に相談して助言・指導を受けている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>来訪時に個々の家族に情報を提供し、緊急を要する場合は、電話で連絡・報告をしている。定期的には、毎月請求書の送付に合わせて「ご家族への手紙」を作成し、最近の健康状態・生活状況・余暇の過ごし方など、報告している。「ご家族さまからのご意見・ご要望」の欄を設けている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族様への手紙の中にご家族様からのご意見・要望を書く欄を設けて、意見・要望を聴取できるようにしている。家族来訪時に職員が直接、意見や要望・苦情を聴取し管理者に報告している。</p>		<p>聴取した意見・苦情の内容が分かるように書面として残し、職員間で家族の意見を検討し、サービスの充実に反映させることが望ましい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>市役所の高齢介護課（主に）を事情に応じて訪問し、相談など行っている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>現在実践者研修を中心に中堅・リーダークラスの職員へ紹介し参加を促している。職員の休憩室に介護技術などのビデオを設置し、貸し出しすることで自己研鑽を促している。</p>		<p>ホーム内の研修は実施していない。施設内で年間研修計画を策定し、必要な内容を実施していくことが望まれる。また、外部研修受講者からの伝達研修を行う等、計画的な職員研修の取り組みを期待する。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>連絡会で年1回講師を招いて研修会を実施しており職員が参加している。尼崎のグループホーム連絡会があり、討論会は、役員と登録している職員が参加している。役員会は管理者が参加している。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者・家族に見学に来てもらい、利用者が安心してサービスを利用できるように努めている。また、行事への参加の呼びかけ・体験入居の実施・昼間に短時間過ごしてもらう等、ホームの雰囲気に慣れてもらえるように柔軟な支援している。「入居までのスケジュール」を作成し、利用申し込み時に説明している。帰宅願望が強い方には、家族の協力を得て慣れてもらえるようにしている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の状況により、日々の生活の活動を分担し、家族の一員としての役割や自立を促すような支援を行っている。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>運営理念に謳われている高齢者の尊厳を大切に考えた言葉かけを行い利用者の思いや意向を聞き出せるように取り組んでいる。</p>		
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>現在独自のアセスメント様式を使用してケアの実践に活かせるような細かな介護計画が作成されている。今後センター方式や地域で作成されたアセスメント様式導入を検討中である。計画立案時には、スタッフノートに気付きを記載し職員の意見を活かした計画立案を行っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>計画の見直しは、居室担当者が計画について気付きを聴取し、パートを含めた職員と話し合いを行い、管理者・計画作成担当者と作成している。</p>		<p>精神的・身体的な些細な変化を見逃さない為にも毎月現在の計画が実情に則しているのか見直しを実施していくことが望まれる。</p>
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の状況により適切な医療を受けることができるよう受診同行を行い支援している。個別の買物の要望により外出を支援している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>週3回連携医の往診がある。眼科・歯科・整形などは希望の医療機関へ受診支援を行っている。連携医とは24時間相談に応じてもらえるように連携が取れている。認知症の専門医への受診は、家族が受診支援している。緊急受診の際に、必要な情報や持ち物を忘れないように緊急袋を準備しており、スムーズに適切な医療を受けることができるようにしている。定期的な訪問看護が必要な利用者には、訪問看護を受ける体制が整備されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に重度化した場合、医療が必要になると利用できないことを説明している。</p>		<p>重度化や終末期に向けたホームの方針を契約書に明示するほか、マニュアルを作成していくことが望まれる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報保護法にそって広報誌への写真掲載は本人・家族の同意を得て使用するようになっている。出来る限り本人の希望に添って入浴や排泄を同性介助するよう取り組んでいる。利用者に対しての誇りやプライバシーに配慮した細やかな声かけを行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな1日のスケジュールはあるが、利用者の状態や希望にそって強制しないように柔軟な支援するようにしている。日々利用者と職員の会話の中から1日の過ごし方を聞き取り、利用者のペースに合わせ希望に添った支援をしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士の資格を持っている職員を配置しており、栄養バランスを見ている。職員と会話を交わしながら一緒に食事時間を過ごしている。利用者の意欲や体調・要望により調理準備や後片付けが出来るように支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	隔日に入浴できるように支援している。個浴でプライバシーに心がけながら利用者の状況により職員が介助したり、見守りを行ったりしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者と共にホーム周囲の花の手入れや水やりなどの草花の世話・近くのスーパーへの買い物外出・近くの喫茶店、カラオケハウスでくつろぐなど、利用者が役割や楽しみごとを継続していけるように声かけや場面作りを行っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>住宅街の散歩・スーパーへの定期的な買物など、気候の良い時期は毎日外出している。身体状況で散歩や外出が困難な方には、玄関前にパラソルを広げ日光浴や外気浴が出来るように支援している。雨が降って外出できない時は、体操のビデオなどを利用し、気分転換を図れるように取り組んでいる。行事や外出の機会が少ないとの意見に対しては、行事を企画したり、外出が頻繁に出来るように取り組んで居る。</p>		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関は、構造上スタッフが目に付きにくく、施設が交通量の多い道路に面しており安全確保のために止む終えず施錠している。</p>		<p>施錠していることが当たり前にならないように身体拘束の研修や話し合いを行っていき施錠による弊害を理解し鍵を掛けないケアへの取り組みを期待する。</p>
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>毎年3月に消防署から来てもらい避難訓練を実施している。より具体的な防災マニュアルの作成に向けて取り組みを検討している。</p>		<p>夜間想定などを含めたホームの現状に合わせた避難訓練の実施および、運営推進会議開催時に災害時の地域の方への協力依頼が望ましい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
	28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通して確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
	29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
	30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者 や家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのもを活かして、居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>		

 は、重点項目。